

Press Release(H26/12/9)

イベント取材について（お願い）

日頃より本学の教育・研究活動にご支援いただきありがとうございます。
本学では下記の行事を開催いたします。
つきましては、取材方よろしくお願いいたします。

記

行事名

岐阜大学 応用生物科学部
動物繁殖学研究室 & 附属野生動物管理学研究センター合同セミナー
「ニホンライチョウの現状と保護」

【開催趣旨】

ニホンライチョウ全体の個体数は、1984年以前は約3000羽と推定されていましたが、最近の調査では2000羽以下にまで減少していると推定されています。その減少要因として、キツネやカラスなどの生息域拡大による捕食の増加、山岳環境の汚染、開発による生息地の減少、ニホンジカの侵入による高山植生の破壊などが挙げられています。

このようなニホンライチョウの現状を紹介するパネル展「ニホンライチョウの危機―神の鳥を失わないために」を、現在、岐阜大学図書館で開催中ですが、このパネル展にも大いにご協力いただいている信州大学の中村浩志先生から、ニホンライチョウの置かれている状況、生態調査や保護活動の最前線について、最新情報をご紹介していただきます。パネル展とあわせて、ニホンライチョウのこと、山岳環境のことを考えるきっかけにいただければ幸いです。

【日時】 平成26年12月16日（火） 16:20～18:10

【場所】 岐阜大学応用生物科学部101講義室（岐阜市柳戸1-1）

【対象】 一般市民、行政関係者、学生・教職員等（入場無料・事前申込不要）

【主催】 岐阜大学 応用生物科学部 動物繁殖学研究室

岐阜大学 応用生物科学部 附属野生動物管理学研究センター

本セミナーは、「動物園学」特別講義と第19回野生動物管理学研究センターセミナーとの、複合的な位置付けのもとで開催されます。

【プログラム】

16:20～16:30 開催趣旨説明・講師紹介
楠田哲士（岐阜大学 応用生物科学部准教授）

16:30～17:40 講演 「ニホンライチョウの現状と保護」
中村浩志（信州大学 教育学部特任教授）

17:40～18:00 話題提供

「大型野生動物の高山帯への侵入：岐阜県の現状と今後の課題」
角田裕志（岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究セン
ター鳥獣対策研究部門客員准教授）

18：00 ～ 18：10 閉会挨拶・事務連絡

9：00 ～ 21：30 （自由見学）

ライチョウパネル展 in ぎふ

「ニホンライチョウの危機 — 神の鳥を失わないために」
岐阜大学図書館にて開催中

http://www1.gifu-u.ac.jp/~lar/contents/lar_event/lar_event.html

【お問合せ先】

岐阜大学 応用生物科学部 附属野生動物管理学研究センター 鳥獣対策研究部門

Tel / Fax 058-293-3416 （担当：原口句美）

E-mail rcwm@gifu-u.ac.jp

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/>

